

真理によって聖別されて、わたしたち自身から出て来て、

三一の神の中へと入り、真に一となる

聖書：ヨハネ 17:14-24

I. 真理は、神聖な光が聖書の事実を照らして、これらの事実の天的で霊的なビジョンをわたしたちの存在の中へと映し出すことです。新約では、真理はこのような「天的テレビ」を指しています：

- A. すべての神聖な事実は、御言の中に含まれており、御言を通してわたしたちに伝達されます。その霊が御言を照らすとき、わたしたちは天的テレビを持ちます。光は、御言の中の事実を照らし、これらの事実の天的ビジョンをわたしたちの存在の中へと伝達します。そして、わたしたちは真理を認識します——使徒 26:16, 19. エペソ 1:17-18 前半。
- B. その霊は、真理の霊、実際の霊と呼ばれています（ヨハネ 14:17）。実際の霊は「天的電気」であり、それによって霊的な事物はわたしたちの存在の中へと映し出されます。彼は、わたしたちを「すべての実際」へと導き（16:13）、御子であるすべてと御子が持っているすべてを、わたしたちに対して実際とさせます（1:14, 17. 14:6）。
- C. 真理の霊、実際の霊が、聖書の中に記載され含まれている霊的事実を照らすとき、わたしたちは真理、実際を受けます。もしわたしたちが御言を読んでも、その霊の照らしがなければ、わたしたちは教理や「ニュース報道」を持つかもしれませんが、真理や実際やビジョンを持たないかもしれません——参照、ヨブ 42:5. ヨハネ 5:39-40. II コリント 3:6。
- D. 真理は、光の照らし、光の表現です。言い換えれば、真理は、表現された光です。光は真理の源であり、また真理は光の流れ出であるので、わたしたちは光の中を歩くとき、真理を実行しているのです——ヨハネ 1:4-5, 7-9, 12-13. 8:12. 14:6. I ヨハネ 1:5-6. II ヨハネ 4 節. III ヨハネ 3-4 節。
- E. 主は光であり、真理であり、御言です。御言は真理でもあり、光を与えます。なぜなら、御言の中に光があるからです——ヨハネ 8:12. 14:6. 17:17. 詩 119:105, 130。
- F. 真理は光の照らしであり、この光は命の光であるので、真理、光、命は分離することができません。神聖な光がわたしたちの中へと輝くとき、それはわたしたちの中で真理となり、命をわたしたちの存在の中へと分け与えます——ヨハネ 8:12, 32, 40. 12:35-36, 46. 14:6。

II. 真理には二つの機能があります：

- A. 真理は、わたしたちを罪の束縛から自由にし、あらゆる消極的なものから自由にします——ヨハネ 8:32, 36。
- B. 真理は、地位上においても性情においてもわたしたちを聖別して、わたしたちを神の要素で浸透します——ヨハネ 17:17. エペソ 5:26。

III. 三一の神は、彼の言葉の中でわたしたちによって実際化され、わたしたちの存在の中へと分け与えられ注入されました。これが、わたしたちを自由にし、わたしたちを聖

**別する真理です：**

- A. わたしたちは失望したり、意気消沈したり、内側でむなしいと感じたりするとき、自分自身を開いて、御言へと来ることができます。しばらく読んだ後、何かがわたしたちの内側で起き上がり、わたしたちは主の臨在を享受します——詩 119:25, 37, 40, 50, 88, 93, 107, 149, 154, 156, 159。
- B. このようにして御言を受け取ることによって、主からの何かはわたしたちの中へと造り込まれます。これは、生き、行動し、働き、わたしたちを分離する三一の神の実際です。
- C. 毎朝わたしたちは、書かれた御言の中で生ける御言に触れて、神聖な実際、すなわち、わたしたちの存在の中へと注入された、適用された言葉である手順を経た三一の神を持つことができます——ヨハネ 1:1. 10:35. 5:39-40. 6:63. エペソ 5:26. 6:17-18. 詩 119:15：
1. 神の要素がこのようにわたしたちの存在の中へと注入されることは、短気、ねたみ、憎しみ、高ぶりのような消極的な事物からわたしたちを解放します。それはわたしたちをあらゆる種類の虚偽から解放します。そしてわたしたちは、真の解放、真の自由を持ちます。
  2. わたしたちは解放される時、聖別され、分離され、神に対して聖とされます。これは、地位上においてだけでなく、性情においてもです。神の本質そのものがわたしたちの中へと造り込まれるので、わたしたちは神と一になります。
- D. 毎日わたしたちは、このようにして御言へと来る必要があります。わたしたちは毎朝、御言へと来る必要があります。もし可能なら、他の時にもこのようにする必要があります。
- E. 御言葉がわたしたちの霊の中で、生ける霊とミングリングされる時、わたしたちは神の本質をもって聖別されます。
- F. このように御言と接触することによって、日ごとに神はわたしたちの中へと加えられます。その結果、わたしたちは神をもって浸透され、神と一にされます。
- G. わたしたちの大きな必要は、生ける三一の神を、神の書かれた御言、生ける御言、適用された言葉を通して、わたしたちの中へと注入し、造り込んでいただくことです。
- IV. 真理の言葉を通してもたらされる聖別は、分裂の要因を対処することによって、その結果、一を生み出します。真理は聖別し、聖別は一を生み出します——ヨハネ 17:14-24：**
- A. 主イエス、すなわち御子は、真理です。その霊は、真理の霊です。御父の言葉は、真理です——ヨハネ 1:14, 17. 14:6, 17. 17:17. I ヨハネ 5:6：
1. 御父は、御子の中に具体化されています。御子は、真理の霊として実際化されています。その霊は、御言と一です——コロサイ 2:9. ヨハネ 14:17. 16:13. エペソ 6:17-18。
  2. わたしたちは、開かれた心と開かれた霊をもって御言に来るときはいつも、真理としての御言とその霊とに直ちに触れます。
- B. 聖別する言葉、聖別する霊、聖別する命、聖別する神は、すべて一です。ですから、

もしわたしたちが聖別されつつあるなら、わたしたちは自然に一です。なぜなら、分裂のあらゆる要因が取り去られるからです。

C. ヨハネ第 17 章 17 節から 23 節でわたしたちが見るのは、聖別が真の一を生み出すということです。なぜなら、この聖別はわたしたちを三一の神の中に保つからです。21 節は言います、「それは、彼らがすべて一となるためです。父よ、あなたがわたしの中におられ、わたしがあなたの中にいるように、彼らもわたしたちの中にいるためであり」：

1. 一となるために、わたしたちは 21 節の「わたしたち」の中に、すなわち、三一の神の中にいる必要があります。
2. 三一の神の中にいる唯一の道は、分裂のあらゆる要因を対処する聖別する真理によつてです。
3. 三一の神の中に保たれることによつて、わたしたちは一です。しかし、わたしたちが三一の神の中から出て来るときはいつも、直ちに分裂します。
4. 毎朝わたしたちは主と接触し、生ける御言に触れ、神聖な實際をわたしたちの存在の中へと注入していただく必要があります。わたしたちがこのようにして主と接触するとき、分裂の要因は克服されます。
5. わたしたちの中の分裂の要因が、聖別する真理によつて死に渡されるとき、わたしたちは真の一の中へともたらされます。なぜなら、聖別はわたしたちを三一の神の中に保つからです。
6. 真理の言葉を通して得られる聖別は、キリストのからだの一、すなわち、三一の神の拡大された一を生み出します——ヨハネ 17:21。

#### V. 分裂には、四つの要因があります：

- A. これらの要因の第一は、この世的であることです。わたしたちがある面においてこの世を愛するなら、この世的であることのその面は分裂の原因となります——ヨハネ 17:14-16, 18. I ヨハネ 2:15-17. 5:19。
- B. 分裂のもう一つの原因は、野心です。わたしたちが御言を通して主と接触し、主にご自身をわたしたちの中へと注入していただくとき、このようにしてわたしたちの存在の中へと分け与えられた真理は、わたしたちの野心を殺します——参照、イザヤ 14:13。
- C. 分裂の第三の原因は、自己を高く上げることです。わたしたちは、名もない者になることを願うべきであつて、キリストを唯一の重要人物、すなわち宇宙において首位である方として高く上げるべきです——コロサイ 1:18. II コリント 4:5. III ヨハネ 9-11 節。
- D. 分裂の第四の要因は、意見と観念です。わたしたちは、自分の意見に固執すべきではなく、単純になつて主の目標を追い求めるべきです。その目標とは、キリストを命またすべてとして回復して、召会を建造することです——マタイ 16:21-24. 参照、啓 3:14。

#### VI. わたしたちが自分自身から出て来て、三一の神の中へと入るとき、わたしたちは一であり、さらには成就されて一となります——ヨハネ 17:11, 17, 21-23：

- A. わたしたち自身の中には、分裂の四つの要因があります。もしわたしたちが自己の

中にとどまるなら、これら四つのものから逃れることはできません。

- B. 聖別されることは、自分自身から出て来て、三一の神の中へと入り、キリストにわたしたちの中で生きていただくことです。このようにして、わたしたちは成就されて一となります—ヨハネ 17:21-23。
- C. このような聖別が起こるのは、御言葉、すなわち真理によってであり、またその霊、すなわち真理の霊によってです：
1. 毎朝わたしたちが御言に来るとき、外側ではわたしたちが御言に触れていますが、内側ではその霊がわたしたちに触れています。御言葉とその霊（両方とも実際です）によって、わたしたちは聖別されます。
  2. わたしたちが御言に触れれば触れるほど、またその霊がわたしたちに触れれば触れるほど、ますますわたしたちは自分自身から出て来ます。わたしたちは、一つの住まい（自己）から別の住まい（三一の神）へと移ります。
  3. 毎日わたしたちは、このように移る必要があります。なぜなら、自己の中には、この世的であること、野心、自己を高く上げること、意見と観念があるからです。
  4. もしわたしたちが絶えず御言に触れ、日々、その霊にわたしたちに触れていただくなら、わたしたちは聖別されます。すなわち、わたしたちは自分自身（わたしたちの古い住まい）から出て来て、三一の神（わたしたちの新しい住まい）の中へと入ります。
  5. いったんわたしたちが自分自身から出て来るなら、わたしたちは聖別され、分裂の要因から分離され、そして分離されて神へと帰されるだけでなく、神の中へと入ります。
  6. 真の一を持つために、まずわたしたちは自分自身から出て来て、三一の神の中へと入らなければなりません（ヨハネ 17:17, 21）。それから、わたしたちはキリストにわたしたちの中に住んでいただかなければなりません（23 節前半）：
    - a. この成就された一が、真の建造です。これは命における成長です—エペソ 4:16。
    - b. 命において成長することの意味は、わたしたちが自分自身から出て来て、三一の神の中へと入り、キリストにわたしたちの中で生きていただくことです。もしわたしたちが三一の神の中へと入り、キリストにわたしたちの中で生きていただくなら、わたしたちはどの地方の聖徒たちとも一になることができます。
- D. 「わたしが彼らの中におり、あなたがわたしの中におられるのは、彼らが成就されて一となるためです」—ヨハネ 17:23：
1. 成就されて一となることの意味は、この世的であること、野心、自己を高く上げること、意見と観念から救い出されることです。
  2. 「わたしが彼らの中におり」—この意味は、御子がわたしたちの中で生き、行動するということです。
  3. 「あなたがわたしの中におられる」—この意味は、御父が御子の中で生き、行動するということです。
  4. 言い換えれば、御子がわたしたちの中で生き、行動するとき、御父は御子の中で生き、行動します。この二重の生きることと行動によって、わたしたちは成就されて一となり、栄光の中で御父を表現します。

E. 野心はヨハネ第 17 章 21 節で暗示されており、自己を高く上げることは 22 節で暗示されており、観念と意見は 23 節で暗示されています：

1. 三一の神の中には、野心はありません。御父の栄光の中には、自己を高く上げることはありません。キリストが生き、王として支配している所には、意見はありません。
2. 手順を経た三一の神の神聖で奥義的な領域の中では、野心は飲み尽くされ、自己を高く上げることは消滅し、観念と意見は殺されます。ここには、サタンが体系化したこの世（15 節）の中の分裂の悪はなく、真の一があります。

F. 真の一は、御父の中に生き、キリストにわたしたちの中で生きていただき、御父の栄光、御父の表現の中で生きることです——ヨハネ 17:22, 24：

1. わたしたちは自分自身から出て来て、三一の神の中へと入り、彼の中にとどまる必要があります。それは、御父の表現、御父の栄光のためです。
2. 三一の神の中でのみ、真の建造、真の一を持つことができます。また、キリストがわたしたちの中で生きる時のみ、この建造は優勢なものになります。そして、わたしたちは栄光の中で御父を表現し、真の一を経験することができます。

